

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	012548	事務事業名	庁舎建設事業費			
担当部・課名	行政管理部庁舎建設課	評価者 (課長)	福本 栄治	評価責任者 (部長)	小林 智之	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	400105	分野	4安心安全	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	1災害に強いまちづくりの推進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(5)新庁舎の建設			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	周南市民	事業の目的 (意図)	低い耐震性能、バリアフリーの問題、本庁機能の分散など、現庁舎が抱える多くの課題を解消し、市民の安心安全の確保と利便性の向上を図る。
事業の内容 (手段)	次のような特徴を持った新庁舎を建設する。 ①免震構造を採用、②本庁部局を集約、③来庁者の多い窓口を低層階に配置、④わかりやすい案内表示を採用、⑤ユニバーサルデザインを採用、⑥飲食施設、売店出店想定スペースを確保、⑦市民利用会議室を設置		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	進捗率	事業費(契約済繰越額含む) 累計額/全体事業費予定額1 10億円	%	目標値	1.7	3.2	13.2
			実績値	1.7	3.2		
			達成度(%)	100.0%	100.0%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	115,200	202,074	1,244,403	6,896,908
	うち一財	千円	37,600	774	31,878	12,950	52,342
(決算額)	直接事業費	千円	99,216	64,250		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	37,016	810		本体工事の進捗	本体工事の進捗
	正職員人件費	千円	28,841	20,734			
	人工数	人	3.90	2.80			
	支出コスト	千円	決) 128,057	決) 84,984			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	市民説明会、出前トーク、シンポジウム等を開催し、新庁舎の必要性を認識してもらうための説明を行ったことで、市民に建設の必要性が浸透してきた。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 基本構想で定めた「これからの庁舎のあり方」の実現に支障がない範囲でできるだけ費用を抑える方針で設計を行った。発注に当たっても、効率性も踏まえてその方法を検討する必要がある。
	評価	A A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	安心安全の確保と利便性の向上のため、また、合併特例債活用を考えると中長期的な財政面からも、計画どおり事業を進めるべきである。	評価責任者コメント	引き続き、安心安全の確保と利便性の向上のために、平成30年度の完成を目指して着実に事業を進める。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
災害時においてもその対策の中核機能の役割を果たせる庁舎、また、市民サービスを提供する上で適切な規模の庁舎を建設し、安心・安全の確保及び利便性の向上を図るため、本体工事を着実に進めるための予算を計上する。(継続費設定済)	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	庁舎建設事業	市民の安心安全の確保と利便性の向上	新庁舎の建設	67,450		2.80	
				否			
②							
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	012550	事務事業名	基金管理事業費			
担当部・課名	行政管理部庁舎建設課	評価者 (課長)	福本 栄治	評価責任者 (部長)	小林 智之	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	400105	分野	4安心安全	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	1災害に強いまちづくりの推進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(5)新庁舎の建設			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	周南市民	事業の目的 (意図)	新庁舎建設に係る財政負担を平準化する。
事業の内容 (手段)	基金積立てを行い、財政負担の年度間調整を行う。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
					進捗率	積立累計額/積立目標額20億円	%
				実績値	85.0	100.1	
				達成度(%)	100.0%	100.0%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	601,101	301,702	201,789	1,000
うち一財		千円	600,000	300,000	200,000	0	0
(決算額)	直接事業費	千円	600,440	300,680		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	600,000	300,000		積立て完了に伴い、 利子分のみを計上	積立て完了に伴い、 利子分のみを計上
	正職員人件費	千円	740	741			
	人工数	人	0.10	0.10	0.10		
	支出コスト	千円	決) 601,180	決) 301,421			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成23年度から着実に積み立てを行い、平成27年度をもって当初の積立目標額20億円に到達した。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 積立金自体以外のコストは人件費のみである。
	評価	A A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	平成27年度をもって当初の積立目標額20億円に達したが、建設事業費が基本計画時の想定よりも増加したことや仮庁舎整備費などにも一般財源を要したことから、さらに積み増す。	評価責任者コメント	当初の積立目標額に達したが、建設事業費が基本設計時の想定より増加したことから、財政負担の平準化を図るため、財政状況を勘案し庁舎建設基金を積み増す。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
平成28年度をもって目標積立額を達成することから、利子分のみを計上する。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	基金管理事業	財政負担の平準化	基金の積み立て	300,680		0.10	
				否			
②							
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	012560	事務事業名	庁舎建設関連事業費			
担当部・課名	行政管理部庁舎建設課	評価者 (課長)	福本 栄治	評価責任者 (部長)	小林 智之	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	400105	分野	4安心安全	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	1災害に強いまちづくりの推進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(5)新庁舎の建設			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	周南市民	事業の目的 (意図)	新庁舎建設期間中に市民サービスの低下を抑えるとともに、新庁舎建設事業の円滑な実施を図る。
事業の内容 (手段)	仮庁舎の改修整備及び執務室移転を行う。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	執務室移転人数	執務室移転部署の職員数(嘱託、臨時職員を含む。)	人	目標値		431.0	
			実績値		431.0		
			達成度(%)		100.0%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円		237,614		
うち一財		千円					
(決算額)	直接事業費	千円		194,664		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円		664		H27単年事業	
	正職員人件費	千円		22,956			
	人工数	人		3.10			
	支出コスト	千円	決) 0	決) 217,620			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	新庁舎の建設に先立ち現庁舎の一部を解体することに伴い執務室スペースが不足することから、仮庁舎を整備し、執務室を臨時的に配置することとした。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 仮庁舎改修整備は数年間の使用に係るものであることから、極力費用を抑えることを基本として実施した。
	評価	A A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	平成27年度単年度事業	評価責任者コメント	新庁舎建設期間中に市民サービスの低下がないよう、仮庁舎を改修整備し、執務室の移転を計画どおりに実施した。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	庁舎建設関連事業	市民の安心安全の確保と利便性の向上	仮庁舎の改修整備及び執務室移転	194,664		2.80	
				否			
②							
③							
④							
⑤							